

平成 29 年度 第 1 回越前町地域公共交通会議

議 事 録

開催日時：平成 29 年 5 月 31 日(水)

午後 2 時 00 分から午後 3 時 30 分まで

開催場所：越前町役場 別館 2 階 大会議室

●出席者

・委員：15名

(欠席者5名 武内委員、阪下委員、内藤委員、田邊委員、山崎委員)

・事務局：4名 梅野総務理事、佐々木企画財政課長、谷口課長補佐、
小道世主査

●議事概要

(1) 平成 28 年度コミュニティバスおよび路線バスの状況について

事務局	事務局より説明
浅沼副会長	只今の説明において、ご質問やご意見があればお願いします。 コミュニティバスにおいては厳しい状況があつて、年々利用者が減っていると思うが、ご意見等があればお願いします。
畑委員 (福井運輸支局)	コミュニティバスの利用者が右肩下がりの状況の中で、その要因や原因の説明がありましたが、この状態のままだと更に状況が悪くなるのではないかと。町としてどういう施策を打ち出すか、今までも利用促進策を取られてきたと思うが、何か対策を講じないと、このサービスレベルを維持できないと思われる。資料で、全体的にコミュニティバスを利用する機会が減っているという説明があつたが、近年、高齢者の交通事故が多発おり、これから免許返納制度というのがどんどん広がってくると予想される。そこで、地域の移動手段の確保ということで、公共交通である路線バスやコミュニティバスは維持していくことが必要である。考え方によっては、人口は減るけれども団塊の世代が高齢化しており、免許返納などが広がれば公共交通の利用人口が増えることも想定される。昨年は、第三次越前町地域交通計画を策定されましたが、何か対策、新しい施策等があればお聞かせいただきたい。
事務局	コミュニティバスの利用者をどのように増やすかということは、大変難しくいろいろと検討しているところでございます。

	<p>理事者とも協議していますが、鯖江市にある最寄りの電車の駅への直結など、そういった移動の幅を広げる方法で利用者を増やせないか模索しているところがございます。また、デマンド方式が伸びない理由として、高齢者には使いにくいのではと考えており、もう少し利用しやすい方法として、乗合タクシーという考え方も検討していきたいと思っております。</p> <p>それから、高齢者の運転免許の自主返納についてですが、本町でもここ近年増えており、平成27年度で41人、平成28年度には56人となっております。その方達には、本町の支援事業として、10年間コミュニティバスの無料定期乗車券を交付しておりますが、残念ながらそれが直接利用者の増加に繋がっていないのが現状です。町として、これからいろんな対策をやるという段階で、これはという策がない状況です。この地域公共交通会議で、皆様からのご提案があれば、是非とも採用、検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
小柳委員	<p>畑委員の方から、運転免許の自主返納や高齢者の交通事故の話があり、今日もニュースで報道されているのを見て、いずれ自分も自主返納を迎える時期が来ると感じていますが、近所の方の話では、高齢ドライバーに家族が自主返納を勧めてもトラブルになるなど、まだまだ高い壁があるようです。</p> <p>思うに、自主返納したときの支援制度があまり知られていないように感じられます。会合などで、自主返納した方が、便利にコミュニティバスを利用できる具体的な内容をアピールしたり、広報やバス停などでお知らせしていくといいと思います。</p>
事務局	<p>PR不足は感じているところがございます。</p> <p>広報やバス停へのチラシなど、アイデアをいただいたので、実施していきたいと思えます。</p>
浅沼副会長	<p>利用者促進策について、以前はもう少しいろいろな取組みの資料が揃っていたと思うが、例えば、町職員がどれだけ公共交通を利用しているかという資料が付いていた。そういう意味では、利用促進策がどのように取られているのかが、この資料では分かりにくい。もう一度原点に戻って、どういった利用促進策を取ってきたのか、取り組んできた利用促進策で廃止したもの、継続しているものもあると思うが、もう一度取りだし検討してみる必要があると感じた。</p>
吉村委員 (町身障者協会)	<p>事務局からコミュニティバスの鯖江への延線の話があったけれども、毎回話題になっていることである。鯖江市と協議をしたことがあるのか。</p>
事務局	<p>まだ、鯖江市との協議は行っておりません。</p>
吉村委員 (町身障者協会)	<p>鯖江市も越前町へのアクセスについて、直接影響があれば何度も協議に来ると思う。何年も前から丹南病院等へのアクセスが悪いと聞くので、早急に鯖江市へ出向き、何度でも協議をしていただきたいと思います。便利になったことが町民に広がれば、免許返納や利用者の増加に繋がると思います。積極的にやっていただきたいと思います。</p>

山下委員	路線バスの利用者で京福バスの増減が気になっており、茱崎線で6,460人の減で利用者数から見ると非常に多いと思いますが、利用者が少ないほやほや号西田中の668人減など、人数ではなく増減率で表すとどうなのか、その率が高い場合、何が原因なのかということが読めるとよいと思う。例えば、左右地区の人がプラント3まで行く必要がなくなったために減ったのかなど、そのあたりの原因の分析についてどう思われるか、よろしく願います。
事務局	増減率で表しますと、茱崎線で10.5%の減、ほやほや号西田中で27.8%の減となっております。原因としましては、定時路線をほやほや号(デマンド方式)に変更したことやほやほや号(デマンド方式)の使いにくさが利用者を遠ざける要因になっていると考えております。
浅沼副会長	通学定期の補助支援制度は、京福バスも対象となっておりますよね。京福バスは、通学では利用者が少ないということですか。
矢部委員 (京福バス(株))	今の補足ですけども、輸送人員というのは運賃収入から割り出したもので、実際の利用者数ではなく、ある指標としての数値であり、その点をご留意願います。それから、茱崎線ですが、沿線には昔からあまり学校がなく、道守高校ぐらいです。この路線は、越廼地区と越前地区の左右から福井市内の高校に通うのに使われるのですが、最近では、鮎川線という福井市の殿下方面を走る路線に利用者が転化しております。沿線上に学校があり便利だということで、親御さんからの要望もあり延伸して越廼地区を取り込んだことが現状としてあります。そのこともあり、利用者をこれ以上伸ばすというのはデータの的にも非常に厳しい路線であると思っております。利用者の人数をうまく掴みながらいろいろと手を加えていきたいとは思っていますので、現時点ではそのようなことをご理解願いたいと思っております。
時田委員	コミュニティバスの件で、乗合タクシーについて検討するとお聞きしましたが、具体的にどう考えているのか。越前町のタクシー会社は規模が縮小し、町民や観光客など、越前町でタクシーを利用することが不便な状況となっているので、タクシーを活用するような対策をお願いしたい。また、コミュニティバスの鯖江市への乗り入れの件ですが、前回の会議で、福井鉄道(株)との兼合いがあり難しいとお聞きしましたが、通学支援などで利用者や収益も増えているので、鯖江市の丹南病院までは町としてコミュニティバスを延長出来るよう福井鉄道(株)に強く要望してはどうか。
浅沼副会長	コミュニティバスが乗り入れるということですか。
時田委員	はい。本数が少ないということで、アクセスが悪い時間帯数本ぐらいはお願いしたいと思う。
畑委員 (福井運輸支局)	運輸としての考え方を申しますと、今現状の福井鉄道(株)の鯖浦線に越前町のコミュニティバスを走らせると2線競合になります。当然、料金の安価なコミュニティバスに利用者が流れ、収益が悪化し撤退ということになります。鯖浦線は越前町と鯖江市を走っているのですが、当然鯖江市も影響を受けることになります。広域路線を民間の路線バス会社に、そこを幹線軸に地域のコミ

	<p>コミュニティバスを結線し、両方役割を分担しながら維持していくというのが国の考え方です。利便性を求めて今のような意見が出たと思いますが、先ほどのタクシーの件もそうですが、路線バスが撤退などし縮小していくと移動が不便になる。コミュニティバスを走らせると高額な費用がかかり維持していくのが難しいなど悪循環になるので、役割分担を維持して、出来るだけ共存していく方向性で取り組んでいただきたい。もうひとつ、全国的に運送業界全般のドライバー不足が問題になっていますが、運行会社の乗務員不足も2, 3年前から問題になっていきます。車輛はあるが人材がないため運行できない状況にあり、そういった総合的な問題を考え、地域の足を確保するため路線バス会社とのバランスを取りながらコミュニティバスを運営しなければいけないと思っております。ご要望については、越前町としていろいろ検討してると思いますが、ご意見としていただき、役割分担をしながら出来るだけ皆さんのニーズにあった運行を計画していただきたいと思っております。</p>
時田委員	<p>路線の少ない日曜運行など、福井鉄道(株)を越前町がサポートする形で運行すればいいと思う。</p>
浅沼副会長	<p>境界を跨ぐコミュニティバスについては、路線バスと同じ運賃にするという制度が出来ないのか。便利になり本数も増えるし、同じ条件でバスを運行するというのはどうか。</p>
猪嶋委員 (県交通まちづくり課)	<p>その件では、確かに市町の領域を超えてコミュニティバスを走らせるというケースはありますが、コミュニティバスの性格として、安い・同一運賃で地域の中を運行しており、越前町のエリアから鯖江市のエリアに行ったときに、そのお金の負担をどうするのかということが問題になる。そもそもコミュニティバスというのは、運賃収入では絶対にやっていけないというのが前提にあり、掛かる経費の1割回収できれば全国的に見てもいい方です。そういうことなので、コミュニティバスの頻度を上げると、その分町の財政もきつくなるとういことになります。そのため、どういう形で折り合いを付けるのが一番いいのか、鯖江市や運行会社と協議していくことが必要だと思っております。</p>
浅沼副会長	<p>いろんな課題の中で、利用者として便利なものが出来ないかを考えていくことが必要だと思われま。他に、何かありますか。</p>
事務局	<p>今の鯖浦線の質問につきまして町の財政の面から見ますと、先ほど説明したとおり、平成28年度は国庫路線から外れ、福井鉄道(株)への補助金は約7百万ほど増えております。しかし、この路線は鯖江市との協議によりJR北鯖江駅まで延線することで、平成29年度より国庫路線となっております。また、ここでコミュニティバスを走らせることで、要件を満たせず国庫路線から外れれば、その費用のほかコミュニティバスの運行費まで負担が増えることとなります。コミュニティバスの鯖江市乗り入れについては、もう少し詰めながら協議していく必要があると思っております。</p> <p>もうひとつの乗合タクシーの件についてですが、前担当者からいくつか提案をいただいております。例を挙げますと、コミュニティバスの環状ルートや越前</p>

	巡回ルートなど利用者の多い路線はそのまま残し、利用者の少ない織田巡回ルート、乗合ルート、デマンド運行を乗合タクシーで検討するというものです。しかし、現在のコミュニティバスの耐用年数もあるので、計画は立てていく予定ですが、どのタイミングで計画を実行するのか、今後この公共交通会議等で図っていきたいと考えております。
浅沼副会長	コミュニティバスの利用者数の推移が出ていますが、利用者層も分かるものがあればお願いしたい。学生の利用はどうか。利用者層の推移などもう少し知りたいと思う。
事務局	年齢層での利用者の状況について、詳細なデータは取っておりません。学生の件ですが、高校生は通学に路線バスを利用しており、その定期券ではコミュニティバスは乗れないので、ほとんど利用がないと思っております。ただ、小・中・高校生を対象に夏季期間限定のフリーパス券を販売しており、その利用者が多少はあると思っております。
浅沼副会長	もし何かデータがあればお願いします。他に何かありますか。 質問もないようですので、コミュニティバスおよび路線バスの状況についての報告は以上とさせていただきます。

(2) 福井鉄道 バス路線の一部見直しについて

事務局	事務局より説明
浅沼副会長	ご質問やご意見があればお願いします。 既存のルートが無くなるわけではないということですか。
事務局	この新ルートは、路線バスの見直しであり、既存のルートについては、コミュニティバスがそのまま運行することになっております。
畑委員 (福井運輸支局)	細い道の旧道から新しく整備された安全な新道にルートを変更することは全然問題はないけれども、このバス停の移設については、集落の方の乗り場が変わることになると思うが、この発想が福井鉄道(株)からなのか集落の方からの要望なのか教えていただきたい。
事務局	この新ルートについては、既に冬季期間の臨時ルートとして運行しております。地元より、雨や雪の日にバスを待つのが不憫なので、そこにバス待合所があればという話があり、バス待合所が整備されれば、冬季期間以外もそのルートでいいのではないかという意見があったので、それを採用させていただきました。
吉村委員 (町身障者協会)	この新ルートについては地域住民の理解を得ているのか。今の時代は、1人でも反対する者がいれば話が難しくなる。それと、バスの便については簡単に変わることが出来ないと聞いているが、要望するとすぐ変えられるのか。
山下委員	私は上戸区長ですけれども、既に全ての区民の了解を得ております。
事務局	このバス路線の見直しについては、まず、この町の地域公共交通会議で皆様のご了承をいただき、そのあと、県の地域公共交通会議で図った後、協議した証明書とともに運行会社が運輸局へ申請し、その許可が出れば改正という

	流れになります。区の協議から始まり、町、県の協議、国の審査など手続きにはたくさんのプロセスを踏まなければいけないので、先ほど吉村委員が言われた簡単に変わることが出来ないとは、このことかと思っております。
伊部委員	路線の変更は福浦線のみになっているが、鯖浦線はこのルートを走っていないのか。
事務局	鯖浦線は、宮崎を廻るルートしかないため対象にはなっておりません。以前は上戸を通るルートもありましたが、今は廃線になっております。
浅沼副会長	タイムテーブル、距離等の検討はされているのでしょうか。
事務局	距離については100m短縮するという試算がでております。時間についての試算はまだですが、2、3分は早くなると思っております。
山下委員	旧道は、織田の鎌坂から左に入り、急な坂で曲がりくねった道を通ったあと集落の中を抜ける道で、出口も国道との交差点で見通しが悪く非常に危なくなっている。気象条件や安全運転など総合的に考えると、ルート変更により時間も2、3分以上は短縮できるし、バスの安全性も確保できると思っている。また、バス待合所については、特にこの場所は冬は吹きさらしになり、バスを待つにはとても厳しい環境にあるため要望しています。
浅沼副会長	承認いただくのは、ルートの変更とバス停の移設で、時刻等については別によろしかったのですね。他に何かご意見、ご質問はありますか。
浅沼副会長	特にないようですので、承認いただける方は挙手をお願いします。ありがとうございます。それでは、福井鉄道 バス路線の一部見直しについては承認とさせていただきます。

(3) 京福バス バス路線の一部見直しについて

事務局	事務局より説明
浅沼副会長	ご質問やご意見があればお願いします。
矢部委員 (京福バス株)	只今の事務局の説明の補足ですけれども、実施日が平成29年10月1日のこの改定案で、なぜ茱崎線の減便や、西田中宿堂線の廃線区間があるのかということですが、今お配りした福井駅～市内北西部・三国・鮎川方面の運行系統図見ていただきますと、鮎川線は今年の10月に延伸して弁慶の洗濯岩まで来ているのですが、この先の越廼地区の人達も通学にこの路線は便利だということで、実は、鮎川線そのものを越廼地区の波の華まで延伸する予定でございます。そうすると、茱崎線が越廼中学校から波の華まで同じルートを走ることになり、便数が増え密度が薄くなりますので、朝の移動は少し不便になりますが、茱崎線については減便させていただきたいという趣旨でございます。越前町でいいますと、茱崎線では左右のバス停が町内の停留所になります。今現在、左右地区には福井市内の私立高校に通われている生徒さんがいるとお聞きしているので、時刻も学校に間に合うように変更して、毎回利用される方の利便性を落とさないように効率化を図りたいと考えている次第でございます。

浅沼副会長	それでは、ご質問やご意見はありませんか。
浅沼副会長	特にないようですので、承認いただける方は挙手をお願いします。 ありがとうございます。それでは、京福バス バス路線の一部見直しにつきましては承認とさせていただきます。

4) その他

浅沼副会長	その他について、事務局から何かありますでしょうか。
事務局	今現在、コミュニティバスのバス停の新設を検討しております。樫津大区長より、高齢の利用者で住宅が運行ルートから外れていることもあり、バス停までの距離が約 700m と利用するには不便な方がいるため、宮崎中学校付近にバス停の新設をと要望が出ております。この件につきましては、新設した場合、次回の地域公共交通会議で報告させていただきます。
吉村委員 (町身障者協会)	早急に対応していただきたい。
時田委員	コミュニティバスのバス停を作らなくてもフリー乗車で考えてはどうか。
事務局	フリー乗車については条件があり、警察等の協議も必要となるため、検討はしていきたいと思えます。
浅沼副会長	委員の方から何かありますでしょうか。
時田委員	前回の会議で、伊部委員から越前地区から通学している学生のバスの利便性が悪いので、バスがない時間帯に電車を利用できないか質問されたと思うのですが、そのことについての回答や決まったことがあれば、報告をお願いします。
事務局	その件につきましては、次回に報告させていただきます。
小柳委員	近所の方にも高校生の子がいて、通学定期券の補助はすごくありがたいと保護者の方から聞いております。今年度は2ヶ月が過ぎましたが、この補助制度の利用者はどのくらいですか。
事務局	今現在の利用者ですが、朝日地区 43 名、宮崎地区 51 名、越前地区 73 名、織田地区 71 名、合計 238 名でございます。
時田委員	昨年と比べてすごく減っているが、途中で購入する場合もあるということですか。
事務局	先ほど協議事項で説明した平成 28 年度の通学定期券の補助の実績につきましては、延べ人数で報告していますので、年間での定期券の購入以外の方は、1 人の学生でも何かカウントかされている形になります。今報告したのは実人数で、平成 28 年度の実人数の実績とほぼ同数となっております。
浅沼副会長	他に何かありますでしょうか。
石川委員 (代理 江指氏)	先ほどの電車とバスとの併用について便宜を図ってほしいとの要望についての回答は、福井鉄道(株)から越前町の方へ提出しているんですが、その内容としては、電車とバスはその運行ルートが異なるということ、また、運賃体系も違うということからバスの定期で電車を乗ることは出来ないということで報告させていただいております。

時田委員	その点は分かっていることであり、それをどうにかならないかという要望だったと思います。特に試験の時、休日など2時間も3時間もバスがない状況だと聞いています。とにかく利用者が便利になるようにしてほしい。
浅沼副会長	他によろしいでしょうか。
向當委員	今現在、越前町のコミュニティバスと鯖江市や越前市のコミュニティバスの接点の近いバス停で距離はどのぐらいあるのですか。 歩いて乗り継げる所にあるのなら、利用できるのではないのでしょうか。
事務局	鯖江市や越前市へ行く路線バスと町のコミュニティバスとの乗り継ぎについてはきちんと調整しております。ただ、コミュニティバスの利用者は乗り継ぎが嫌いな人が多い傾向にあり、利用者の面から見ると他市町のコミュニティバスとの乗り継ぎの利用は難しいと思われます。また、現状では他市町のコミュニティバスとの乗り継ぎダイヤの調整も行っていないため、最寄りのバス停まで行っても行き先やバスが運行しているか分からない状況ですので、現実的ではないように思われます。
浅沼副会長	他によろしいでしょうか。 無いようですので、以上を持ちまして本日の会議を終了いたします。